



心の天気、晴れになれ！

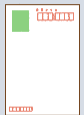
にのみや学園 二宮町立二宮西中学校 学校だより第7号 令和6年12月23日発行 不定期発行

<表彰>

中ブロック協会共催サッカー大会 第3位

第68回ロードレース大会 中学男子3kmの部 第1位(2年生)

2024年度オリジナルキャラクターはがき イラストコンテスト 優秀賞(2年生)



今年にありがとう 来年もよろしくお祈いします

4月5日に1学期がはじまり、体育祭や修学旅行において子どもたちは仲間との絆を深めていきました。



体育祭で、負けてよい競技はありません。勝負に勝とうと、みんな必死に頑張りました。学校は、“勝つ”ことを教えるのではなく、勝つために何をどう頑張るかを教える場だと思います。子どもたちは、勝った時、負けた時の受け止め方も学びます。運動が得意な子も苦手な子もいますが、勝ってもおごらず、負けても誰かを責めることもしませんでした。学校教育目標：「心をつくり 心をみがく」の実現に向けてスタートしました。



修学旅行での思い出を聞いてみると、友だちと過ごした時間そのものと答える子が多かったです。学校の役割の一つに“教育”があります。先生から教わることはたくさんありますが、友だちから学ぶことの方が社会性を身に付けるのに必要だと感じます。仲間と一緒にいるという安心感、一緒に寝泊まりし、食事や語らいを楽しむことはかけがえのない思い出です。友だちとの関係が更に良くなりました。



夏休み後半には2年生の職場体験、2学期に入ると1年生のPA(プロジェクトアドベンチャー)という連帯感や責任感を養う体験型学習をしました。

2年生は、仕事を通して、その人たちの想いや社会的責任を学んだことと思います。写真は、町の図書館で職場体験した生徒による紹介の本です。また、鎌倉自主見学で仲間と協力する必要性を学びました。1年生は、友だちのことを理解したり、思いやりたりすることも覚えました。この頃から1、2年生とも生活態度に変化が見え始めました。(大人になったと感じました。)



2学期には秋麗祭が行われ、午前中は合唱コンクールや文化部の発表、午後は子どもたちのパフォーマンスで盛り上がりました。切り絵とステンドグラス(二宮中生作)は、その後ラディアンで展示されました。1、2年生は来年の開催を楽しみにしています。



育みたい資質・能力の3つの柱である「知識及び技能の基礎」「思考力・判断力・表現力の基礎」「学びに向かう人間性等」は、話し合いを通して身に付きます。物事をある一方向からしか見られなかった自分が、周りの人の考え方を聴くことで、多角的・多面的に捉えられるようになることは心を豊かにします。“人の話を聴くこと”を、まず覚えましょう。

これらの他にもたくさんの活動がありましたが、それぞれに教育的価値があります。今年度も3学期を残すのみとなりますが、1、2学期で積み重ねてきたものを土台として3学期に臨みたいと思います。

防災訓練(津波を想定して)

能登半島地震が起きたのは今年1月1日のことで、あれから1年が経とうとしています。東日本大震災からは13年が経過しています。

12月3日(火)津波を想定し、校舎4階に避難する訓練を行いました。校庭から約13mの高さです。

もし、津波が来るとしたらどこに避難すればよいのでしょうか。今、自分はどの程度の高さの場所にいるのか。振り返りの中で子どもたちに話したことをまとめました。

- ① 東日本大震災では、10mくらいの高さの津波が押し寄せました。
- ② 二宮町小中5校はどのくらいの高さにあるのでしょうか。 *「海拔」…近隣の海面からの高さ
 - 1番高い位置にある学校・・・ **一色小学校** (海拔57m)
 - 2番め・・・ **山西小学校** (海拔43m)
 - 3番め・・・ **二宮小学校** (海拔28m)
 - 4番め・・・ **二宮中学校** (海拔21m)
 - 5番め・・・ **二宮西中学校** (海拔14m)
- ③ 地震が発生したとき、自分がどの程度の高さにいるのかの目安にしておくといいです。



防犯

「防犯」とは、犯罪を未然に防止すること、そのために講じる手段や対策のことです。イメージとしては、子どもたちが被害に遭うことから守るということですが、最近は加害者にならないようにすることも考えなければなりません。SNSを通じて個人情報を握られ、それを基に脅され、犯罪を指示される事案が多く発生しています。いわゆる“闇バイト”です。

保護者の方が子どもに携帯電話を持たせたときには、このような犯罪に巻き込まれるなどとは想像もしていなかったはず。警察の方に聞いてみたところ、そもそも、少年たちは気が小さいので、脅されるとパニックになって指示されたとおりに行動してしまうのだそうです。とにかく、むやみにサイトへアクセスしないことです。

私たち大人は、携帯電話やSNSとは無縁の時代も経験していますから、画面だけでのやり取りには多少の抵抗感や懐疑心を持っています。しかし、今の子どもたちは生まれた時から当たり前物となっていますので、何の抵抗もなく操作しています。今一度、ご家庭で話題にしていきたいものです。



何のために買ってもらったの？
もう一度自分に言い聞かせましょう！

ゆく年くる年

年末は一年のお礼を込めてお掃除し、新しい年を気持ちよく迎えましょう。「しっかりお掃除すると、心もきれいになります。」とおっしゃった先生がおられました。きれいなところには、良いものが入ってくるそうです。

令和7年はみどしです。「復活や再生」や巳を实にかけて「実を結ぶ」年と言われるそうです。保護者や地域の方々には大変お世話になりました。おかげさまで、子どもたちは“正しい努力”

しょうじゆん(正精進)をすることの大切さを知ったことと思います。ありがとうございました。

